

カイコに学ぶ

秋山 幸也

※相模原市立博物館学芸員



その6

カイコを知ろう

③ じゅくさん 熟蚕とまぶし



①熟蚕を見きわめる

5齢で1週間食べ続けた蚕は、それまで真っ白かった皮膚がなんとなく黄色っぽくなって、少しぷよぷよと柔らかくなります。そして頭を上にあげて振るようになります。この時のカイコを「熟蚕（じゅくさん）」と呼びます。色や動きの変化は、繭を作り始めるサインなのです。

それまでのカイコは決して動き回ることがなく、たとえエサがなくなっても探し回らずにじっと待ちます。それがこの熟蚕の時だけはクワの枝先や飼っている入れ物の隅のほう、上の方へ、そして入れ物の外へと出て行ってしまいます。カイコを飼っていて、一番注意して見なくてはいけないのが、熟蚕の時期なのです。

②まぶし（蔴）へ

熟蚕になったカイコは、すぐにまぶしへ移します。まぶしとは、カイコが、繭をつくる場所のことです。昔はわらを編んでつくったりしましたが、何万匹も一度に飼う機械養蚕が行われるようになってからは、ボール紙をマス目状に組み合わせたものを使うようになりました。学校で飼う時は、トイレトペーパーの芯（しん）を半分に切ったものを用意しておく便利です。（次のページ）熟蚕は繭をつくりはじめるとあちらこちら動き回り、上へ上へと向かいます。まぶしに入れてもすぐには作らずに上の方へ動いて出てしまいますが、熟蚕になって半日から1日ほどで必ず繭を作り始めます。

じゅくさん 熟蚕の状態



下側がまだ熟蚕になっていないカイコ、上側が熟蚕です

繭を作り始めた熟蚕



蔴（まぶし）



ボール紙をマス目状に組み合わせたまぶし



トイレットペーパーの
芯を使ったまぶしと繭



③カイコのおしっこは2回だけ

カイコは一生のうちに、2回だけおしっこをします。

その1回目は、熟蚕になって繭を作り始めてから半日ほどしたところ
です。黄色いおしっこをします。

2回目は成虫になってすぐで、チョコレート色のおしっこをします。

まぶしの入れ物は、下に必ず新聞紙などの紙をしいておきましょう。
おしっこを吸わせるためです。おしっこをする前のふんも少し水っぽい
ので、こうしたおしっこやふんがほかの繭につくと汚れてしまいま
す。下にしく紙は、きれいな繭をつくるためにも大切です。



おしっこは
一生のうちに
たった
2回だけなんだね！

→その7

カイコを知ろう

④品種のはなし